

# 答 辞

冬の寒さも和らぎ、空が春の日差しに満ち溢れてくる今日の良き日に、私たち3年生46名はここ、鹿児島東高校を卒業します。

みんなと過ごした3年間は本当に濃い毎日でした。明日からこの濃く充実した日々が当たり前じゃなくなると思うととても寂しく思います。

私たち3年生の入学式は4月に入ってはじめての大雨の中行われました。坂の上にある学校には冷たい風が吹き、多くの生徒が初めて袖を通した制服を濡らしながら教室に入って行きました。中学時代の友と離れ、県内20の中学校から集まった友の中でうまく自分を出すことが出来ず周りに馴染むために人に合わせてばかりだったように思います。しかし、同じ時を過ごしていく中で徐々に自分を出せるようになり、次第に自分の居場所はここだと思えるようになっていきました。2年に上がり周りとは良好な関係を築くことが出来るようになった私たちは、生徒会や部活動、ボランティア活動など、それぞれが活躍する場ができました。

自分の得意とする事だけでなく、新しいことにも挑戦し、行事を重ねるごとに成長していききました。私自身、中学の先生との約束を果たすために生徒会長に立候補し、一年間仕事をしてきました。昨年度は鹿児島東高校創立70周年を迎え、記念事業として様々な活動を行い、生徒会として活動し一回り成長出来たように思います。体育祭では全校生徒でハチヤを披露、姉妹校からくる生徒との交流会の開催、卒業された先輩方の講演会など、普段とは違う学びを得られる特別な一年でした。特に、タイ・中国・韓国の姉妹校の生徒を招いて行った四カ国サミットは今まで知らなかった他国の同年代の学生の生活環境などを知ることができた、国際的視野を広げる良い機会となりました。

そして3年になると、2年の楽しい高校生活とは打って変わり一気に受験モードになり、全ての行事に「最後」という言葉がついてきました。そんな中でも体育祭で総合優勝を獲得することができたり、文化祭でそれぞれの意見を15分という短い時間の中に詰め込み最高の舞台にすることができたりと、どの行事も3年生一丸となり様々な成果を出すことができました。そしてこの団結力は受験でも発揮することが出来ました。互いに励ましあいながら放課後遅くまで友人の面接練習に付き合う姿や内定を貰ったことを自分の事のように喜ぶ姿。高校3年間を通して強くしっかりと団結することが出来た3年生を、私はとても誇らしく思います。

在校生のみなさん、私た3年生は、学習面で成績を伸ばしたり、検定取得に励んだり、一人としてかけたら成り立たない少人数で

の部活動など、濃く有意義な学校生活を送っていました。それは本校のチャンス！チャレンジ！チエンジ！の精神を忘れずに毎日をお過ごしただけです。たった一度きりの高校生活。楽しいことばかりではなく、苦しいと思う出来事もあると思います。そんな時に、このチャンス！チャレンジ！チエンジ！の精神を思い出して下さい。努力すればするほど目の前にチャンスが訪れる。そしてそれにチャレンジすること、自分が変わるきっかけになる。変わることが出来るチャンスがここにはあります。どんなことでもまずはチャレンジしてみてください。

先生方、3年間私たちの成長をそばで支えて下さり、本当に有難うございました。学習面のサポートだけでなく、進路で思い詰まった時や友人関係で悩んだ時も優しくアドバイスをして下さいました。時には叱られて落ち込むことも、その遂に腹を立てることももちろんありました。ですが先生方は私達のことを想って叱っているということを私たちは知っています。常にこれからの私達のことを考えて下さった先生方。私たちは先生方から様々なものをもらいました。今度は私たちが先生方に恩返ししていきたい。また、思春期真っ只中の私たちを毎日送り出してくれたお父さんお母さん。困らせてばかりでごめん下さい。下らないことに反抗したり、些細な事で喧嘩をしたり、幼少期に比べて成長しているものの、まだまだ両親の前では子供のようです。義務教育の過程を終え、高校3年間多くの事を学び、いよいよ春から進学、

就職と更に大人になるためのステップを踏んでいきます。これまでお世話になった感謝の気持ちを忘れず、少しでも親孝行できる人になっけていきたいと思います。今まで本当に有難う。

最後に、3年間を共にしたみんな。3年生はみんなを似ているようで似ていない、能天気なようで実は考え深い、十人十色な学年です。やるときはやる。そんな心を持った人ばかりです。くだらないことでお腹を痛くするまで笑い合ったり、本当に苦しい時に寄り添ってくれたり、みんながいたから色々な経験ができた。胸を張って誇れる仲間と出会えて本当に良かった。3年間幸せだったと心から思えることが出来ます。本当に有難う。明日からは46通りの人生を歩むことになります。慣れない環境は不安もあると思うし様々な困難が待ち受けていると思いますが、ここで一緒に過ごした日々が、前に進む力になると思っています。どんな時も「自分らしさ」を忘れず、輝き続けて下さい。みんなと笑顔で再開できることを楽しみにしています。

最後になりましたが、本日は私達のためにこのような盛大な心温まる式を挙げて下さり有難うございました。皆様への溢れる感謝の気持ちと、鹿見島東高校の今後の発展を祈念致しまして、答辞とさせていただきます。

令和二年三月二日

卒業生代表

古川

樹梨

